

新 生

平成二十九年六月十日印刷
平成二十九年六月二十日発行

新生第六十九巻 第二号



東北新生園入所者自治会

新 生

平成二十九年六月十日印刷
平成二十九年六月二十日発行

第六十九巻第二号

東北新生園の概況

所 在 地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土 地 面 積	351,291㎡
建物延面積	25,280㎡
開 園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	244床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男28名 女43名 計71名
職員定員数	150名（平成29年4月1日現在）
園 長	医学博士 横 田 隆

東北新生園交通案内図



春季バス旅行

— 平成29年5月30日 —

塩釜・松島方面



塩釜仲卸市場での買い物



海鮮せんべい塩釜での買い物



松島観光物産館での昼食



松島さかな市場

園内日誌

平成二十九年 一月～三月

《二月》

四日 正月行事（抽選会）
六日 新年賀詞交換会
十二日 笹川記念保健協力財団訪問

《一月》

二十一日 三重県健康福祉部慰問

《三月》

九日 作業者旅行（塩釜方面）
二十四日 転勤・退職者送別昼食会（楓会主催）
三十一日 転勤・退職者離任式

【謝寄贈図書欄】

平成二十九年 一月～三月（敬称略）

多 磨 園	岡山県 邑久光明園
高 原 園	東京都 多磨全生園
菊池野 熊本県 栗生楽泉園	
愛 生 岡山県 菊池恵楓園	
青 松 香川県 大島青松園	
甲田の裾 青森県 松丘保養園	
始良野 鹿児島県 星塚敬愛園	
緑 園 宮城県 登米高等学校生徒会	
ふれあい文芸 東京都 日本財団ソーシャルイノベーション本部	
大阪にあったハンセン病療養所外島保養院	
大阪府 済生会	
国立ハンセン病資料館重監房資料館平成二十七年年度年報	
東京都 国立ハンセン病資料館	

平成29年6月10日 印刷
平成29年6月20日 発行

発 行 東北新生園楓会(自治会)
編 集 楓 会 文 化 部
印 刷 川内印刷株式会社

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
発行所 東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600



新生・第六十九巻第二号……………目次

表紙……………「園内観桜会」

よろしくお願いします……………事務長…細川一人…(2)
転勤のご挨拶……………副総看護師長…岩田美紀…(5)
カメルーン共和国でのハンセン病制圧活動……………WHOハンセン病制圧大使…笹野陽平…(7)
随筆「介護員との会話」……………今野きよし…(14)

|| 新生文芸 ||

詩……………選者…佐々木洋一…(17)
短歌……………選者…皆川二郎…(22)
俳句……………選者…山田桃晃…(23)
川柳……………選者…栗石隆子…(25)
転勤のごあいさつ……………看護師長…志和池賀美…(27)
転勤のご挨拶……………看護師長…松田順子…(30)
転勤のご挨拶……………福祉室医事係…又村…(33)
随筆「笑顔の介護員」……………原が作…今野きよし…(34)
四コマ漫画……………まんが作…北村生小富士蝶…(34)
園内日誌・謝寄贈図書……………

よろしくお願いします

事務長

細川 一人

縁があり四月一日の異動で国立療養所東北新生園事務長となりました「ほそかわかずひと」と申します。

出身は、岩手県で盛岡市の南隣に位置します矢巾町というところ です。国立療養所盛岡病院に採用となりましてから十三施設目での勤務となります。

ハンセン病療養所の勤務は初めてとなりますが、よろしくお願いいたします。

少し出身地方面について紹介をしますと、矢巾町は盛岡市のベッドタウンとして開発が

進み、人口の増加も進んでいる地域です。平成三十一年には岩手医科大学付属病院の移転も計画されており、さらに開発が進むものと思われま す。

町の西側は山岳地帯となっており、標高八四八mの南昌山があります。この南昌山には郷土の童話作家で「雨マケズ・・・」で皆様ご存じの宮沢賢治が何度も訪れており「銀河鉄道の夜」は南昌山が舞台となっているとの一説もあります。また、南昌山の麓には幣懸（ぬさかけ）の滝があります。昔、マタギが入山するときには山神に弊を奉納して安全を祈ったとされ、この名称がついたとされています。規模は大きくありませんが、夏場は小さい子供連れでも安全です。そこは夏でもさわやかな風で、マイナスイオンもふんだんに実感でき爽快感が得られると思います。

山沿いに南へ少し足を進めますと、千年の歴史を誇り日本屈指の古社として、宇迦之御魂大神（うがのみたまのおおかみ）猿田彦大

神（さるたひこのおおかみ）大宮能売大神（おみやのめのおおかみ）三柱の貴神を奉斎している志和稲荷神社があります。ここは、志和の「おいなりさん」と仰がれており、生活生業万般に亘り、特に車のお祓い・厄年のお祓い・合格祈願には特に霊驗あらたかな神様として、全国各地から多くの参拝者が訪れています。

この志和稲荷神社の奥には、昭和二十七年に山王海ダムが建設されています。

紫波の地域は水稲面積が多く慢性的な水不足だったようです。そのため、自分の地区に水を引くため死者が出るほどの「水争い」が起こっており当時の藩（その後は県）は対策に頭を悩ませており、水不足を解消するためダムが建設されました。建設当時は「東洋一のアース型ダム」と呼ばれていたそうです。

さらに、山王海ダムの直ぐ南には葛丸川が流れております。森から葛丸川に注ぐ沢水が滝となった「たろしの滝」です。冬はその滝

が凍結して氷柱となります。その氷柱は太い時では8mにもなるといいます。毎年二月十一日の建国記念の日に測定会が行われ、氷柱の太さによってその年の米の作況を占っています。太ければ太いほど豊作となりますが、今年は直前の降雨で3m程度だった氷柱が崩落し「測定不納」となり、ご託宣は「不作」となったようです。今年についてはご託宣が当たらないことを祈っております。

このように、あまりメジャーではありませんが、私のご当地にも味わい深い名所がありますので、お近くを通った際は、是非足を伸ばしてお寄りください。

私は単身赴任が長く、週末は自宅で過ごし日曜日に自宅で夕飯を済ませてから勤務地に帰っていました。帰る車の中ではラジオを聞くのが習慣でした。NHKラジオの「新日曜名作座」は好きな番組の一つでした。

三年程前だったと思いますが「あん」が放送されました。回を重ねてハンセン病への偏

見が背景にある作品と分かったのですが、その時にハンセン病について考えさせられたことを、今回の異動に合わせて思い出されました。その後、皆さんもご存じのように映画化もされました。

東北新生園に着任してまず考え学んだことは、ハンセン病併せて当園の歴史についてです。まだかじった程度ではありますが、多くの方々がほんとうに長い間「差別と偏見」に苦しんでこられて現在に至っていることです。「らい予防法」が廃止され、裁判で勝訴しても、その全てが変わるものでもなく、昔に戻るわけでもないのが現実であると知りました。その現在までの歴史、これからも続く歴史のほんの一瞬でも関われる機会を貰えたことを光栄に思っています。

しっかりと東北新生園の歩んできた道を見据えながら、また皆様のご指導を仰ぎながら入所者の皆さんにはより住みやすい、また職員の方々にはより働きやすい環境となるよう

努めて参ります。

併せて、ここ東北新生園でも、地域の皆様に開かれた四季折々の行事や各種イベント等も盛んに行われておりますので、そのような行事等も足がかりとして地域の皆様と共に歩んでいけるようにと考えております。よろしくお願いいたします。



転勤のご挨拶

副総看護師

岩田 美紀

この度、国立病院機構山形病院から赴任して参りました岩田でございます。

出身は、山形県山形市、蔵王・月山・朝日の山々に囲まれ、私が育ったところも畑や田んぼに囲まれています。幼少期から、春はわらびやこごみ、秋はきのこ取り、海や山にも良く出かけました。そのような環境で育ち、さぞかしアウトドア派かと思いきや、今ではわらび園のわらびを取るのが精一杯になってしまいました。自然の中で過ごすことは大好きです。山形と言えば、さくらんぼ・ラフ

ランス・芋煮・そば・お米等おいしい食材の宝庫です。そして、天童温泉・蔵王温泉・肘折温泉等の温泉も豊富なため、山形病院に他県から赴任してきた同僚は、休みの度に温泉巡りやおいしいものの食べ歩きをしていました。長年生活していると当たり前になっていた。食べ物や環境でしたが、大変恵まれていることに改めて気づかされました。また、「花の山形」♪紅葉の天童♪の花笠音頭、花笠祭りは、東北四大祭りのひとつとされ毎年八月には山形市のメインストリートを色とりどりの衣装をまとった多くの団体が花笠祭りに出場します。私も小学校の頃から運動会や子供会で踊り、山形市のメインストリートでのお祭りにも数回参加しました。花笠祭りでは、正調や笠回し、アレンジされたものなど様々な踊りがあり、参加者も小学校低学年からご年配の方まで広く楽しめ、山形自慢のひとつではないかと思っています。

私は、前任地である国立病院機構山形病院付属看護学校を卒業し、山形病院へ就職、呼

吸器内科病棟・重症心身障害児者病棟・神経内科病棟での勤務を経て、仙台西多賀病院と山形病院で看護師長として十一年勤務いたしました。私が東北新生園を訪れるのは今回二度目であり、一度目は、看護学生一年生の時に見学実習をさせていただきました。約三十年前のことで年齢と共に記憶の大部分が薄れているのですが、数時間かけて東北新生に到着、広く自然豊かな園内の風景や赤い屋根のお家、歴代の園長先生の写真、入所されている方々との挨拶の場面が思い出されます。

今回の赴任の話しをいただいた時はその当時は思い出し、赴任してからはセンターから見える風景にどこことなく懐かしさを感じました。看護師となつてからは、呼吸機能や心身に障害をお持ちの方々の看護、慢性期看護に携わってきました。「その人らしく」を支える看護をモットーとして、日常生活の基本的な援助はもちろんのこと、桜鑑賞会への参加や外部での行事に万全の状態で参加できるよう体調管理や地域との調整を行ってきました。

バイオリンやフルートの音色にうっとりラックスした表情、施設内から見える山形大花火大会の花火に歓声を上げ笑顔や楽しい表情等、全てが私の宝物であり看護師になつて良かったと思う瞬間です。「その人らしく」を支える看護に対する思いは、これまでも、そしてこれからも私の看護に対する信念として見失わずに大切にしていきたいと思つていきます。そのためには、園での行事をひとつひとつ歴史と合致させながら経験し理解すること、入所されている方々のお顔を一日も早く覚えることを第一目標として努力したいと思ひます。

ハンセン療養所での勤務は初めて不慣れなことも多々あるうかと思ひます。入所されている方々が安全かつ安心して過ごせるようこれまでの経験を活かしながら、おひとりおひとりに寄り添つた看護・介護が提供できるよう努力して参りたいと思ひますので、よろしくお願ひいたします。

カメルーン共和国での ハンセン病制圧活動

WHOハンセン病制圧大使

笹川 陽 平

二〇一六年七月三日から十三日にかけて、アフリカの中西部に位置するカメルーン共和国（以下カメルーン）を訪問した。

同国は、北東はチャド、東は中央アフリカ、北西はナイジェリア、南は赤道ギニア、ガボン、コンゴ共和国に国境を接し、西岸は大西洋のギニア湾に面している三角形の形をした国である。またアフリカの国々の中で最も多様な民族で構成されており、およそ二五〇の部族が居住しているといわれている。

カメルーンは一九八八年末に、WHO（世界

保健機関）の定める公衆衛生上の問題としてのハンセン病制圧目標（人口一万人に一人未満となること）を国レベルで達成している。新規患者数は隣国のコンゴ民主共和国やナイジェリアが三千人前後に対して、十分の一の三〇〇人程度である。

しかし国全体の七〇%の行政単位でハンセン病の報告がされていない、いわゆるデータがない状態であるため、実際の数はわからない。また、ハンセン病による後遺症や悪化防止に対応する施設がなく、俗にピグミーと呼ばれる森の中で移動しながら生活するバカ族などの狩猟民族や、国内難民に対する医療サービスの提供が遅れていると言われている。このような特にサービスの提供が困難な、南部および南東部の森林地帯に住むバカ族ピグミーのハンセン病の実態調査を行うことが今回の主な訪問目的である。

日本からパリ経由で丸二日かけて降り立ったときは真夜中近くになっていた。カメルーン

ンの首都ヤウンデは七つの丘に囲まれた高地で、小さな丘がいくつもあり、赤道に近いが暑くはない。七月はちょうど雨季で一日中曇っているという状況だった。

途上国での活動はまず保健大臣への表敬から始まるのが常である。

官庁街も丘の上にあり、保健省は重厚な木の壁に覆われた廊下を通り、アンドレ・ママ・フォード保健大臣の部屋に入るまでに木製の扉が十メートルの間に三つもあった。

保健大臣との挨拶を終えて次に向かったのは、ハンセン病担当官のンジ医師の事務所だ。かつてハンセン病患者が入院する施設だったという建物の片隅を事務所として使っていた別の部屋には蚊帳が山積みになっている。マラリアの予防にもなる蚊帳の配布先はないのだろうか。

翌朝は早くにバカ族が住む東部地区の州都ベルトウアに向けて首都ヤウンデを出発した。この日はイスラム教のラマダン（断食）明け

とあって、街中は鮮やかな色に着飾ったイスラム教徒の人々が多く、お祝いムードだった。



フォード保健大臣を表敬訪問した

想像以上にカメルーンの道は舗装されており、移動はスムーズであった。道路脇には、土壁で作られた家が続き、多くの家では子供

が座って、通る車輛をあきもせずじっと眺めている。突然のにか雨には歩いている子供が大きなバナナの葉を傘代わりに使っている。車窓からの景色は何時間見ても飽きることはない。景色は楽しい。だが、アフリカで最も恐れるのは地方への移動なのである。都市部に比べ車輛が少ないにも関わらず交通事故が多いのである。アフリカのどこの国でも見られるように、過載とスピードの出しすぎで横転しているトラックを何度も見かけた。ヤウンデを出てから約六時間で東部州の州都ベルトウアに到着し、荷物を解く間もなく、すぐに州知事を訪問。雨がやまず、黄色い壁にヤシの木が生い茂る、グレゴリー州知事のオフィスの敷地は赤土がむき出しでかなりぬかるんでいた。知事の説明では、この州はカメルーンにある十州の中で最も広いが、人口は一番少ないという。また、中央アフリカと国境を接していることから、人口一〇〇万人中二〇万人が難民で、食糧問題や健康問題が

深刻になっていそう。知事から晩餐会にも招待され、手厚いもてなしを受けた。話の中で、知事がなんと三島由紀夫の『金閣寺』の影響を受け、京都に興味を持っていることがわかった。アフリカと三島由紀夫の取り合わせが興味深い。



メンゾー村に住むハンセン病回復者たちから話を聞く

次の日は、森の中に住むバカ族の村を訪問。日本の梅雨のようなうす曇の天気だが、過ごしやすい気温で鳥の声がどこからともなく聞こえてきて心地よい。ベルトウアから車で約一時間半、まずアボンバン保健局でバカ族が多く住むこの県のハンセン病の状況について説明を受け、その後、さらに保健局から二時間近く走ってメンゾー村に到着した。

バカ族と近くに住む農耕民のバントウ族も加え一〇〇人ほどが広場に集まり、太鼓と踊りで歓迎してくれた。私もいつもの通り彼らの輪に加わって一緒に踊った。バカ族のリーダー、エレン女史がハンセン病患者を三人紹介してくれた。一人目は杖を突いた白髪の瘦せた老人男性。二人目は背中にハンセン病の初期症状と見られる斑紋のある幼児。三人目は手に潰瘍のある中年の女性で、足がとても細く、鼻のあたりに後遺症が残る。

彼女に「何かいやなことをされたことはありますか？」と質問してみると「すぐく意地

悪されて、自殺を考えている。手がないじゃないか、お前は森へ帰れと言われ、家族からものけ者にされる」と私の手を取りながら大粒の涙をこぼした。私は彼女の手を引き、集まった村人に対してハンセン病は治る病気であり、差別をすることは不当であることを説明した。そして「この中にいる人で差別をしないと誓ってくれる人は手を挙げてください」と聞くと、ほとんどの人が手を挙げてくれた。

私が去った後までその約束が守られることを願うばかりである。差別に対する感情というものは私のような外部の人間がちよつと説明したからと言って、すぐになくなるものではないことは十分理解しているつもりである。しかし、やり続けなければ問題解決にはつながらないのである。

次に訪問したのは、コワンブという村である。両脇の木が覆いかぶさるような森の中のドロ道を三〇分ほど走るとコワンブ村に到着

目を大きくあけて強く私の手を握りしめた。



コワンブ村に住む
ジャスティンさんの自宅を訪問した

村人はまた踊りで歓迎してくれた。村長によると、ここは一九三六年に近隣に住むバカ族のハンセン病患者を治療・入院させるためにできた療養所で、一九七〇年代には六〇〇人を超す患者がいた。昔はアボンバン市内に病院はあったが、ハンセン病は怖いと考える周辺住民の反対に合い、このような深い森の中に施設を移動したという。また、バカ族を森の外に定住させる国家政策で、ここまでの道路が作られ、道沿いには定住・半定住化したバカ族が住み着いているところでもあった。村に四人いるという回復者の一人、鮮やかな青い服を着た盲目の老人が歌で歓迎してくれた。事前に準備したのか即興なのかは不明だが、SASAKAWAという名前が頻繁に聞こえ、太くて低い音声は森の中で厳粛に響きわたった。私は老人を抱きしめ「テレビに出られるレベルの素晴らしい歌声ですね。長い間の悲しみや苦しみを乗り越えて生活されていることに敬意を表します」というと盲目の

そのあと、荒れ果てた建物に住む中年男性のジャスティンさんに話を聞いた。子どもの

ころに発症し、家族と一緒に暮らしていた森から追い出され、親戚や友人もすべて離れてしまい一人の生活になったという。

治療薬でだいぶ回復したので、森にまた戻りたいと考えているそうだが、たぶん受け入れてくれないだろうと悲しげな表情で下を向いてしまった。

最終日には森深くにある集落を訪問した。探検隊のように、見たこともない野生の木々が生い茂るジャングルの中を進む。まるで少年の頃映画で見たワイズミュラーのターザン映画のような場所である。足元がぬかるんでいる所もあるので、転ばないように杖をたよりに注意しながら歩く。しばらくして、バカ族の住む森の集落にたどり着いた。木と葉で作ったドーム形をしたモングルと呼ばれる家が五軒あり、二家族二十三人が生活していた。集落のリーダーの話では、捕った獲物は全員で分け与え、争いなどはないとのことだが、



森の中で生活するバカ族たち

アフリカの森奥深くに住むバカ族の間では、ハンセン病にかかっても分け隔てなく生活できていると思っていたが、実情は違っていた。ハンセン病が神様や悪魔によって毒された病気と信じ、情報の入らない森の中でも差別が存在することがわかった。たとえ小さな島でも、大森林地帯でも、人が住むすべての場所でハンセン病に対する差別があることを思い

二十三人の中にハンセン病の回復者が二人、アルビノ（先天性白皮症）を患う人が三人いて、彼らが家族の輪の中に入りきれずに遠くにいるようで少し気になった。

私は二人のハンセン病回復者に小声で「今までいじめられたことはないですか？」と聞いた。すると二人は「いやというほど経験しているのです、もうしゃべりたくない」とだまっていた。他の家族に「二人はどうしてこの病気にかかったと思いますか？」と聞いてみると、ひとりの男性が「神様の罰か悪魔の祟りだ」と答えたのである。このような奥深い森の中で、しかも二十三人という小さい集団の中にも、偏見や差別があることに驚きを隠せなかった。私からは、ハンセン病は神様のたたきではなく、色々な病気のひとつであり、早く治療すれば後遺症は残らないと説明し、家族間での偏見や差別をしないで欲しいことを伝えて、森を後にした。



ハンセン病回復者の女性ふたりと

知らされた。私の前で差別しないと誓った人がすぐに行動にうつせるとは限らない。世界中からハンセン病に対する差別がなくなり、すべての人が生き生きと暮らせるようになるためには忍耐強く、正しい知識を広める活動を続けていかなければならない。

介護員との会話

今野 きよし

A 入所者 B 介護員

A これからリハビリに行きたいので
宜しく頼みます
B はい、わかりました。車椅子で行くので
したね。では出発します
A 介護員さんは熊谷さんといいましたか？
B どなたの事ですか？
A お名前は由美さんでしたね？
B 名前はその通りですが名字は佐伯です
A それでは、私が間違っていましたね
B そうですか。佐伯ですので宜しくね
A 私はとんちんかんですから、これからも
間違った時は良く教えてくださいね

B はあそうですか、そんなことないですよ
A 介護員さんは私たちの事よく気を付けて
おりますね
B はい、私はこの仕事が好きですから、気
に留めております
A お仕事を好きになっていただくのが一番
ですからね。ありがたいですよ、私たちは
私が仕事を好きと言った事をそんなに喜
んで下さるのですか？
A そうですよ。仕事が好きになっていただ
いてうれしいですよ
B 私の一言がそんなに良いのですか？
A それはそうですよ。少々の失敗なんかよ
りも愛情込めた介護がうれしいですよ

B 失敗しないようにと気を付けております
A それはそうですね。誰も失敗をしようと
思っている人はいないですからね
B そうですね。そう思って毎日仕事に励ん
でおります
A 私たちにはその気持ちはとてもうれしい
です
B そうですね。それでもわからない事ばか
りですので、皆さん宜しく教えて下さいね
A 教えるなんてとても出来ませんけれども
用事を頼むだけです
B 私は皆さんとは年も違いますし、考えも
違うところもあると思いますね。お話を
しながらですと早いですね。もう着きま
したよ
A ありがとうございます。迎えも頼みます
B はい、わかりました。では帰ります
○月○日
B ご飯ですよ。召し上がってください

A ご飯ですか。お昼ですね
B 召し上がってくださいね。これでいいで
すか？ゆつくりとね
A はい、今日の昼食は豪華ですね。頬がゆ
いともおいしいそうな献立ですね。頬がゆ
るんできますね
A 皆さんいつも忙しく働いておりますか
ら、腹ペコでしょうね。私たちはいつも
ゴロゴロしていますから、それほどでは
ないですけど
B はあそうですか
A 昼食後
A ごちそうさん。終わりました
B それではお薬ですね。待って参りますか
らちよつとお待ちくださいね。ゼリーと
一緒でしたね
A そうです。ゼリーは冷蔵庫に入っており
ます。扉空けて下さい。すぐにわかりま
すから

詩

佐々木 洋 一 選

◇ 入 選 ◇

《光のページェント》

今 野 きよし

再びの招待受けて
今年も来ました
光りのページェント
乗り物バスの車種
ひまわり交通「ニューセレガ」
高速下りて仙台西道路

道幅広くくねりくねりと
私の目には眩暈がしそう
車の中はにぎやかな
あっという間に西公園の並木道
暗がり過ぎて
バスの方角東を指して
定禅寺通りの並木道
六十本のけやきの幹に
六十万個の電飾飾るという
幹に張られた電線眺め
いつのまにやら県庁前の玄関に
手を振って県の方々
ハンセン協会の方々の
家族のような出迎え受けて
旅の疲れも吹き飛んで
頬にさらさら風受けて
ゆっくりゆっくり
バスから下されて
エレベーターに乗せられ

B ありました。これですね。ゼリーは良い
ですね。皆さん苦くないと言ってますね
そうですね。飲みやすいです。座らなく
とも良いですよ。立ったままで飲ませて
下さい。この方が楽なんです。中腰は腰
が痛くてね
B 私も痛くてね。座った方が楽なんです
A 佐伯さんは座るのは得意なんですか？家
に居る時もこれなんですか？
B これとは何のことですか？
A 三本指ですよ
B よくわかりませんね
A 朝は行つてらっしゃい。夕方はお帰りの
さい手をついて送り迎えをするのです
B 私はそんなことしませんよ。家に帰った
ら別ですから
A どのようにですか？あーうーと大声を出
すのですか？
B まあそれに近い言葉です。出すのは
一日中気持ちを持ち張って働いておりま

B すからね
A そうです良くわかってくれますね。前に
も同じような事聞いたことあります。
A そうですか。前にも同じような事ほかの
人に言ったのですか
B そうですね。聞いたことあります
A 同じ事言わないように気をつけておりま
す
B そうですか。先輩から聞いたことありま
す
A 今日話し相手になつていただいてあり
がとうございました。また頼みます。よ
ろしくね
B はいわかりました。私も楽しかったです
A そうですか。それは良かったです。長く
なりました。ごちそうさまでした
B それではまたの機会にね

十八階に案内される
食事の前に
宮城県保険福祉部次長さんの
歓迎の言葉親しくいただいた
自治会会長さんのお礼の言葉述べられ
挨拶も無事に終えられ
どうぞの声に席に着く
食事の前にくじ引きの
賞品プレゼント
緊張ほぐれにこやかに
食事も進み食後のデザート
コーヒー・ケーキと
盛りだくさんの歓待受けて
満腹感の顔になる
今日の献立野菜が主で
かぼちゃ県内産
ニラも同じく県内産

しいたけ栗駒きゅうり岩沼
大根白石産と
盛りだくさんの食事も終り
十八階より一階に
うきうきどきどきバスに乗る
バスはぐるっと回り
定禅寺通りの
点灯地点に近づいた
今か今かと固唾のみ
点灯時間待つことに
三分二分一分と
あとの十秒長いこと
ああと声がした
点灯場所から遠かった
それでも車中声出して
かやかやにぎやかに
シャッターチャンスと
ボタンを押すも

【選評】

《光りのページエント》

今野 きよし

浮き浮きした作者の気持ち言葉の隅々から伝
わって来る。
光りのページエントの情景が溢れ出てくる清々
しい作品。

写真なかなか写せない
暗い処で失敗ばかり
同じことを繰り返す
その中バスの電灯消えちゃった
心配りの消灯だった
後から写真見たけれど
良くは写っていなかった
眼で見たほうが
良かったのに
風なく雪なく
見えた風景きらきらと
静かな静かな夜だった
道行く見物人のさっそうと
喜びあふれた散策眺め
中には睦まじい二人連れ
バスから下りて歩いて見たかった
光のページエント
光り満点の夜だった



◇ 佳 作 ◇

《生きた証》

北 辰 一 硯

二〇一〇年一月三十日から
二月二十八日まで
国立ハンセン病資料館で
桃生小富士展を絵に川柳を添えて
開いて頂いた
各新聞社の取材やら外国の
ニュース放映に
NHKの取材が二日間も
来て忙しかった事を思い出す
展示会は上々だった事を写真などで
知る事が出来た
その時の担当者は金貴粉
学芸員だった

そんな事もあって今まで私が描いた
色紙・絵百点ほどと各川柳誌と

河北川柳欄に投句した川柳を
国立ハンセン病資料館に
寄付する事にした

私もあと一ヶ月で八十六歳になり
眼も耳も悪くなり色々
病気がちになり先月も病棟に
入室し点滴など八日間もして頂き
そろそろ身のまわりを
整理しなくてはならないと思い
弟が見舞いに来た時
話し合っけて決めて頂いた
先ずは私の絵と川柳を資料館に
勤めている金さんに電話をしたところ
気持ちよく応じてくれて
十一月十二日に
受け取りに来てくれると言ってくれた
梱包する段ボールまで
手配してくれました

いよいよ当日を迎え

私は床を上げて頂き

弟と金さんの来る時間を待ちました
時計を何回も見ているうちに
弟が午前十時家から来てくれました
そうこうしているうちに金さんも
十時三十分に来てくれました
三年ぶりの再会であり懐かしさが
こみ上げてくるのである
元気な顔を見てほっとした金さんが
喜んでくれた
つもる話も沢山あり
時間を気にしながら四十分位
お話が出来ました

金さんは上着を脱いで梱包に
取りかかりました
弟も手伝いました
金さんはどの箱に何が入ったか
写真を撮り乍ら一人で
三時間位かかって十一個の

梱包を仕上げ配送までして
一段落しました

女の細腕であればほど手際よく
どの箱に何が入ったか確認して
後のために整理しやすく
行った事を感心致しました

私の絵と川柳などが私の手元から
離れさみしく感じられました
私の手元にあれば最後には
捨てられる運命です
資料館に預けておけば整理され
その晩には第二回桃生小富士展が
開催され多くの人達に
見て頂く事が出来
私がこの世に生きた証として残り
絵も川柳もきつと喜ぶ事だろう
金さんに心から感謝して
長く生きねばと願っています

短歌

皆川二郎選

◇入選◇

夕暮れの小さき沼から白鳥の高度を上げて遠くに去りぬ
今野 きよし

【選評】

伊豆沼などに来ていた白鳥も季節が過ぎて北帰行する頃でしょう。小さな沼から飛び立った白鳥が、徐々に高度を上げて飛び去る光景が見えるようです。
素直な写生が効果的であり、季節感もあつて清らかな気持ちにさせてくれました。

◇佳作◇

大川小津波訴訟に勝訴して亡き子思いつつ言葉に詰まる
北辰 一 硯
七十四人の子等を津波で亡くしたる大川小の悲しみ深し
ガンマ治療終えて頭に付けし器具はせせば痛みと血の滲み出る
サラサラと雪降る音を聞いて居り耳に残りし遠き日の吾

今野 きよし
か静かなる園の内外ひっそりと過疎地となれど平和に暮らす
円さん今日もお勤め来ましたね待っていました寮友のみな
去年今年忙しく皆が吾々の看護介護と勤めてくれぬ

ガンマ治療終えてくしくも退院日わが誕生日と重なりてうれし
北辰 一 硯

【選評】

脳腫瘍により入院された作者がその治療のためにガンマ治療を受けられた様子が、一連の連作からよくわかりました。
この一首は、退院の日と誕生日が重なったということであり、その喜びもひとしおだったと思います。完治を願います。

朝虹のきれいに走る空を見て今日一日の無事を祈りぬ
今野 きよし

【選評】

朝一番の空を見上げた時、美しい虹が空にかかっているのを見上げると、何か良いことがあります。うで、一日が無事であつてほしいと願わずにはいられない気持ちになります。

俳句

山田桃晃選

◇入選◇

路の臺あぶれば故郷の匂いする
園 永 泊

【選評】

早春、雪解けを待ちかねたように萌黄浅緑色の花穂が土中より出る。すなわち故郷に出合う。摘んで食べる「あぶれば」ほろ苦い故郷の風が至福の匂い元気そのものである。

今野 きよし
朝焼けに誓いを立てて山笑う

【選評】

朝焼けは天気が下り坂になる前兆と聞いているが、夕焼けとともに盛んな色彩を見せて楽しませてくれる。樹々が芽吹き山が膨らんできて、生気が満ちた感じ。何の誓いだろうと生きる喜びがある。

斎藤 照雄
故郷の母の味する蓬餅

【選評】

故郷はいくつになっても故郷である。故郷の味・母の味がするのは搗き立てのふつくらした緑色。母の味よりは故郷の味の方が働く力、長寿の母の力を願う蓬餅の香りでありたい。

◇ 佳作 ◇

園 永 泊
バレンタイン子に託してや義理チヨコを
春泥に手足の型を置いて来た
物言わず春待つ木の芽光るかな

今野 きよし

介護員爪先立てて山笑う
逞しい鬼の装束山笑う
都までアイデア探し山笑う

斎藤 照雄

茶摘歌歌えば故郷近くなり
寒梅の偕楽園に人の山
畑をうつあの故郷の父に似る

千 歩

《地位》

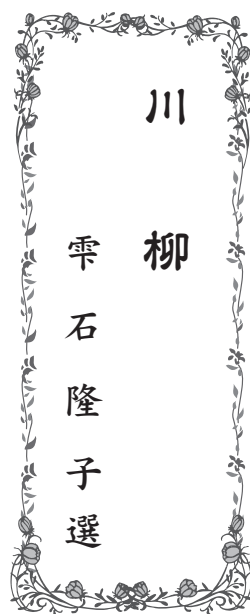
制服に着替えてスイッチONにする

【選評】

制服を着ると日常から、仕事（学生なら勉強）モードになる。

日本の伝統文芸である川柳にもカタカナやアルファベットの表記が使われるようになった。これも又、時代を反映するものである。

◇ 入選 ◇



《人位》

桜山 南仙
ほろ酔いにやたら出て来る里心

【選評】

ほどほどのお酒にノスタルジーをかき立てられる。

中七の「やたら」に作者の気持ちが込められ、飲めば無性にふる里が恋しくなるのも老境の証であろう。

桃生 小富士

《天位》
三寒四温泣いて笑って春が来た

【選評】

冬に四日間の暖かい日が続くと三日間寒い日が続き、また温かい日が来るという七日周期の三寒四温。花咲く季節までは、人は泣いたり笑ったりの日々を経る。気象と人生のありようを重ねて、自然からも人生を学ぶ作者。

◇ 佳 作 ◇

長 沼 蓮 花

里帰りこぶしの花も出迎えし
夜明け前カラスの声が大合唱
プラットホーム涙こらえて手がふるえ
照れ笑いしながらよさこい初披露

桜 山 南 仙

雨や雪だけでよいのき天下り
看護師の朝の一声青い空
悪口を語った後にワンカップ
日本列島SOSの木の葉色

千 歩

新学期よいいドンと背中押す
春風と栄養補給の旅に出る
八十の母の編み込み細くなり
病床のシューアゲイン手を握り

斎 藤 照 雄

七転び八起きただいま闘病中
泣けるだけ泣いて笑える日を信じ
痩せ肋昔は健康優良児
目、耳、足悪くなるなか口達者

今 野 きよし

過分あるお世話いただき牡丹花
身を捧げ別れは悲し花虎の尾
茶をこぼしぐちをこぼして山笑う

桃 生 小富士

鶯を遠くに聞いて居眠りし
生と死が逝ったり来り春の雲
葛根湯煎じて老いを温める
廃棄物のようにベッドに横たわる

転勤のぐあいさつ

看護師長

志和池 賀 美

この度、国立病院機構宮城病院から赴任して参りました志和池と申します。どうぞ、宜しくお願いいたします。

出身は、お隣の岩手県紫波町です。盛岡の南側に位置し東西に細長く、奥羽山脈と北上山地に囲まれた盆地で、夏暑く冬は寒さの厳しい場所、朝晩の気温差もあるためか稲作の他、葡萄や西洋梨・リンゴなど様々な果物の栽培が盛んでした。美味しい物が多く、お陰で栄養過多に育ち、子供の頃には既に今の体型を獲得しておりました。

こうして、看護学校を卒業する二十数年を岩手で過ごし、国立療養所西多賀病院（現：国立病院機構仙台西多賀病院）への就職とともに宮城へ参りました。

西多賀病院には約二十年間勤務し、重症心身障害児（者）病棟、筋ジストロフィー症病棟、小児整形・整形外科病棟で働きました。ここでは、障害により言葉で思いを訴えることの出来ない患者様が多かったため、ちよつとした表情の変化や仕草に気がつき、思いに寄り添ったケアができるように、観察の視点や重要性などの、看護の基本となる部分を学ばせていただきました。

また当時は、長期入院されている方々もまだ若く、行事なども様々な物があり、温泉への親子遠足やキャンプと称した保養施設への一泊旅行などもありました。

私もスタッフの一員として同行し、Tシャツに短パンで温泉への入浴のお手伝いをした事もあり、大変な一面とは反対に患者様の笑

顔やご家族からの「この子のお陰で色んな体験ができてありがたいね。」等の言葉にやりがいを感じ、楽しい思い出となっています。今度五月末に、東北新生園でも松島方面へバス旅行があると聞き、当時の事を懐かしく思い出しました。

ただ、入所者の方も高齢の方が多かったためか参加者が少なく残念に感じています。他の行事もそうですが、たくさんの入所者の方が安心して参加できるよう、体制を整え協力していきたいと思っています。

その後、宮城病院へ異動し九年間勤務しました。九年間には、東日本大震災があり海沿いの宮城病院は大丈夫でしたか？と心配されることもありましたが、幸い宮城病院は高台にあったため、一階の患者様約百四十名を二・三階病棟へ、ベッドごと避難させたものの直接の被害はほとんどありませんでした。

しかし、イチゴ畑と防風林の松林が広がる

のどかな景色は一変し、病棟の窓から見える病院周辺は津波により水浸しで、あまりの変り様にただ呆然とした事を覚えています。

職員には、家や家族を失った者もありましたが、避難所から出勤し救急車で運ばれてきた方の処置や入院されている方々のケアにあたっていました。あれから六年、復興住宅も建ち並び新しい駅と電車の運行も再開し、少しずつ街の様子も変わってきたところで、この春東北新生園への異動となりました。

私は、ハンセン病の方に接するのは初めてで、看護学生時代の同級生に松丘保養園附属看護学校出身者がおり、実習での様子を聞いたぐらいでしたので、全く知識も無く新採用オリエンテーションの講義で、今までの歴史等を学ばせていただきました。

これを機に、さらにハンセン病の歴史を学び入所者の方々の思いを知り、少しでも思いに寄り添い、入所者の皆様が穏やかに安心し

て過ごせるよう、スタッフの皆さんとともに協力し、看護・介護していきたいと思っています。今回、東北新生園に初めて来た印象としては、建物の中どこへ行っても清掃が行き届ききちんとしていること、敷地が広大で池や丘・桜の木などが整備され眺めが良いこと、そしてどこへ行っても皆さんやさしく教えて下さることです。今回はお花見散歩に参加できませんでした。来年こそは池の畔で入所者の皆さんとお花見をしたいと思っています。

まだまだよく分からない事も多く、不慣れでご迷惑をお掛けすると思いますが、どうぞ宜しくお願いいたします。



転勤のご挨拶

看護師長

松田 順子

このたび、岩手病院から看護師長として赴任して参りました松田順子と申します。宜しくお願い致します。

私の出身は福島県郡山市です。郡山市は福島県の中央に位置しており、山々に囲まれた盆地となっております。山々に囲まれた盆地ですが、比較的山にも海にも近い場所にあり、若い頃、夏はいわき市・双葉郡・相馬市の海岸で海水浴やキャンプをし、冬は会津磐梯山や安達太良山にあるスキー場でスノーボードをして過ごしております。

会津磐梯山の手前には日本国内で第四位の広さを持つ猪苗代湖があり、その周辺には野口英世記念館や世界のガラス館があり賑わっております。また、郡山市は東北地方で仙台に次いで第二位の人口規模となっており、中学校・高校は一学年一〇クラスというマンモス高で教育を受けました。

音楽のまちとしても有名であり、学生時代は合唱にも取り組みましたが、私にとってはどちらかと言うと苦手な分野でした。

このように自分の出身地や経歴を文面で紹介する機会があまりなく、昔の事をとても懐かしく思いながら、今この原稿を書かせて頂いております。

私が看護師を志したのは、看護師であった母の影響であり、市内の看護学校を卒業後、民間病院に就職しました。

仕事を覚えることこなすことに必死な中、患者様から「ありがとう」と感謝の言葉を頂けたことがとても嬉しかったのを覚えていま

す。五年程勤務したところ、運命の人と出会いました。その人がなんと岩手県出身の方であり、生まれ育った福島県に別れを告げ岩手県にお嫁に行きました。その後、国立病院機構岩手病院採用となり十一年間勤務しました。

岩手病院在職中、東日本大震災に襲われライフラインがすべて遮断された生活を経験しました。岩手病院の建物も打撃を受け、昨年建て替えとなりました。新病院への引越を経て今回、転勤を命ぜられ宮城県の東北新生園勤務となりました。

東北新生園は自然に囲まれ豊かな緑と空気の澄んだ環境の中にあり、療養環境として最適だと感じています。ライトアップされた桜の見事さにも感激しております。毎日、帰路に向かう時、今日も一日無事終わった安堵感と同時に、職員玄関から見えるライトアップされた桜に癒されております。

私は今まで、循環器科・脳外科・外科・呼吸器科といった一般的疾患の看護と重症心身

障害児（者）の看護に携わってきました。

東北新生園のお話は少々聞いておりましたが、東北新生園がどこにあるのか、どのような場所なのかも分からず、もちろん入所者の方々と携わる機会もなく、今に至っております。今回転勤を命ぜられ、東北新生園で入所者の皆様に関わらせて頂くこと、学ばせていただくことは、私の人生において貴重な経験になると思っております。与えられたこのご縁とこの機会に感謝しております。

勤務して一ヶ月経ち、片道五〇分の通勤にも慣れ、園が病院ではなく生活の場であるという感覚にも慣れてきました。

入所者の方々とお話をする機会もあり、入所の経緯や入所中のお話を聞かせて頂きましたが、私の想像を絶する内容で驚いております。今の時代では到底考えられない環境の中で、自分の意とは違った人生を歩むという道しかない。それでも強く生き抜いて来られた皆様に敬服しております。

皆様の生活がより安楽で快適であるよう精一杯支援させてい頂きたいと思っております。入所者の皆様のご意向を伺いながら、満足できる環境を提供できるよう努力して参ります。

まだご挨拶できていない入所者の方々もおりますので、お会いした際には声をかけさせて頂きたいと思っております。まだまだ不慣れで至らない事が多くご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、その都度ご指導頂ければ幸いです。よろしくお願い致します。



転勤のご挨拶

福祉室医事係

又村

久

四月に仙台医療センターから転任してまいりました又村です。よろしく申し上げます。生まれは、北海道の北部の風連町です。

冬はとても寒く、度々マイナス三〇度以下になりました。そうなると学校の始業時間が二時間遅れになり、ちよつと得した気分になりました。しかし、外は登校時間になってもまだ寒く、耳も手も凍傷になってしまいます。そんな時は必ず顔にタオルを巻いて登校します。教室も全体が冷たいため、用務員さんが石炭ストーブに火を入れて暖めてくれていました。

実家は古くカーテンの隙間から日が差す

と、ダイヤモンドダストを室内で見ることが出来て、キラキラしていました。

そんな北の大地で兄が米を作っています。

振り返ると、北海道では十勝連峰を望む帯広からはじまり、摩周湖の近く弟子屈、夜景の綺麗な函館、八雲、今は無い十勝、帯広を周り、東北では盛岡、あきた、釜石、仙台、そして現在の新生園に至っております。

釜石では東日本大震災に遭い、宿舍の二階部分まで流されました。しばらく秋田に居た家族と連絡が取れず難儀し、三か月間は車中泊をしながら病院に通動していました。

その後仮設住宅に入居でき、伸び伸びできる有り難さを感じました。釜石では市内の川岸をクマが歩いていると放送され、秋田ではタヌキが国道で多数轢かれており、シカが出て信号待ちしていました。新生園でもキジが急に飛び出て来てびっくりしました。人が減って来たせいなのでしょうが？

ハンセン施設は初めての事が多く戸惑っています。早く慣れて入所者様のお役に立てればと思っています。

笑顔の介護員

今野 きよし

A 入所者 B 介護員

史子さんの笑い顔いいね

私笑っていたのをどこで見ました？

この間の合同散歩の写真飾ってあったでしょう。食堂前に

ああそうですか。私まだ見てないのです私は見えて、見ないふりしていたと思っ
てね

私は無頓着なんです。なにもかも

本当は写真を見て、くすくすと笑っていたでしょう

Aさんが私を誉めて下さるのは、うれしいけれどもね

それでは私が誉め上手なんですか

B はい、そうなりますね

A B それでは逆になりましたね
貴方こそ誉め上手ですよ

私はね子供の頃、笑わないようにと言われてました

A どうしてですか？

B 笑って困ることあったのですか
私、目が細いせいで、それで目がなくなると

A 笑い顔はなかなかできないのに、笑った顔はいいね。お母さんも子供のころ同じことを言われたと思います

B そういうことあったのかな

A B 私も子供のころ注意されたことがあります
笑顔ではないけれど

B なんてことですか？

A 自分では何をやったかはわからなかったけれども、とにかく怒られました

B お母さんは欠点見えるんですね

A B たぶん自分も同じ事を言われたせいでしょう

A B 私は深く考えませんが
そうですか、誉めついでにもう一つ褒めることあります

この間の合同散歩の付き添いの時です
良い句浮かびました

「付き添いの腕の上蓬萩の花」

このような句が出来ました。うまくできたかはわかりませんが

B 良い句作ってくれましたね

A B 史子さんはどんな花が好きですか？

B ガーベラ、こちらの玄関に飾ってる花です
すよ

A ああそうですか。知らなかった

B ガーベラですよ。タンポポの花のような

A そうですね。また一句浮かびました

「介添えの仕事身に付くガーベラ」

B さつきはいきなり聞いてね

B そうですね。まじめな顔して聞くものですよから、何の花が好きですかなんて

B そうですよ。困らせましたね

A B 内心嬉しかったです。聞かれてそれは良かった

A この間のように外散歩はいいね

B そうですね。室内よりも外はいいですね

A B そのうち、また合同散歩ありますか

B あると聞いてました。十月二十一日にあると聞きました

A それではもうすぐですね。心の準備、体の準備、楽しみだね

B 今にも散歩あるようですね

A B 笑顔の散歩ですか。心うきうきとね
ありがとうございます

B 「足元に花びらこぼれ萩の花」

原作：桃生小富士

まんが、北村小蝶



4コマまんが

4コマまんが
花火大会



観桜会
新生園睦ヶ池

